

氏名	岩田 春子
学位の種類	博士 (医学)
学位記番号	甲第470号
学位授与年月日	平成29年3月3日
審査委員	主査 教授 木下 芳一
	副査 教授 磯部 威
	副査 教授 大平 明弘

### 論文審査の結果の要旨

医療の標準化と質保証のためにクリニカルパスは重要であるが、その作成は医師と看護師の手作業によるもので、作成後、実症例による最終的なカスタマイズが必要であった。申請者らは、クリニカルパス作成の支援を行うため、電子化された診療歴の解析によるクリニカルパスの自動作成を行う方法を提案した。本方法では、オーダ実行数に関する時系列データを島根大学医学部附属病院の病院情報システムから抽出し、多次元尺度構成法およびクラスタ分析を適用し、診療に必須のオーダの選定を行っている。さらに選定された方法から、逆に選定の根拠となる病日それぞれの貢献度を算出している。貢献度によって、病日毎にデータ分割し、それぞれの分割したデータに再帰的にクラスタ分析を適用している。分割したデータ毎に得られた必須オーダを時系列的に並べることでクリニカルパスの候補が生成されている。申請者らは本方法を DPC コード 020110xx97x0x1 (白内障, 水晶体の疾患 手術あり 手術・処置等 2なし 重症度等 両眼) が付された 134 症例のうち左から右の順に白内障の手術が行われ、クリニカルパス適用があり、オーダ実施が完了した 65 症例のオーダ歴を用いて検証している。本研究により自動作成されたクリニカルパスは現場で実行中のクリニカルパスの中には記載されていないが現実には実施されているオーダを含み、対象疾患のクリニカルパスの改訂を行うことが可能となった。病院情報システムを利用してクリニカルパスの生成を支援する方法の報告はこれまでなく、本自動作成システムの実用化がクリニカルパスの生産性を高めうる重要な研究であると評価し、本研究内容は博士の学位授与に値すると判断した。